

86の進化

21世紀究極のクルマ改造本! G-works



# GT-COR-COR-COR

独立創刊記念ステッカープレゼント

ジーワークス

スカイライン

# 箱スタ

KPGC10  
KGC10

2009

6

定価 580円



ホイールから最新まで

ソレックス



50φの全て

木下みつひろの  
マシンセッティング

おれの街のクルマ  
自慢 大阪編



2T-Gエンジンに迫る

トヨタ4気筒  
は楽しい!!

RB20!!25!!26!!

直列6気筒の楽しさ



# RB20という選択。

クルマを楽しむ上でセオリーなんかなくて、自分が思ったとおりに遊べるのが大事だ。例えば「スタイルが大好き」ならスタイル重視、「走り」がいいなら走りそれは人、様々。そんな中、かたちは旧車で性能は現在の…というスタイルも大アリ。ここではそんな二台を紹介していこう

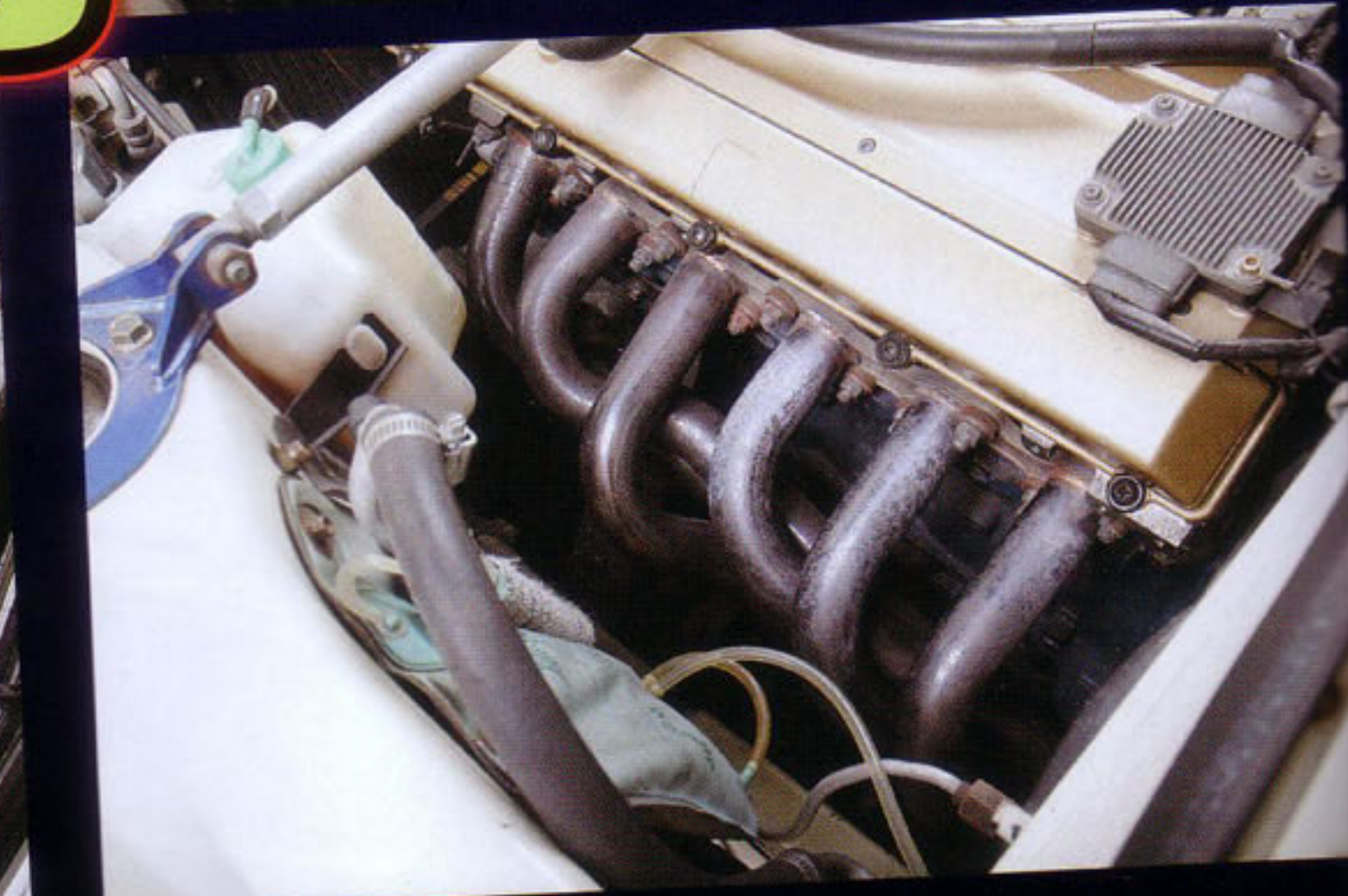
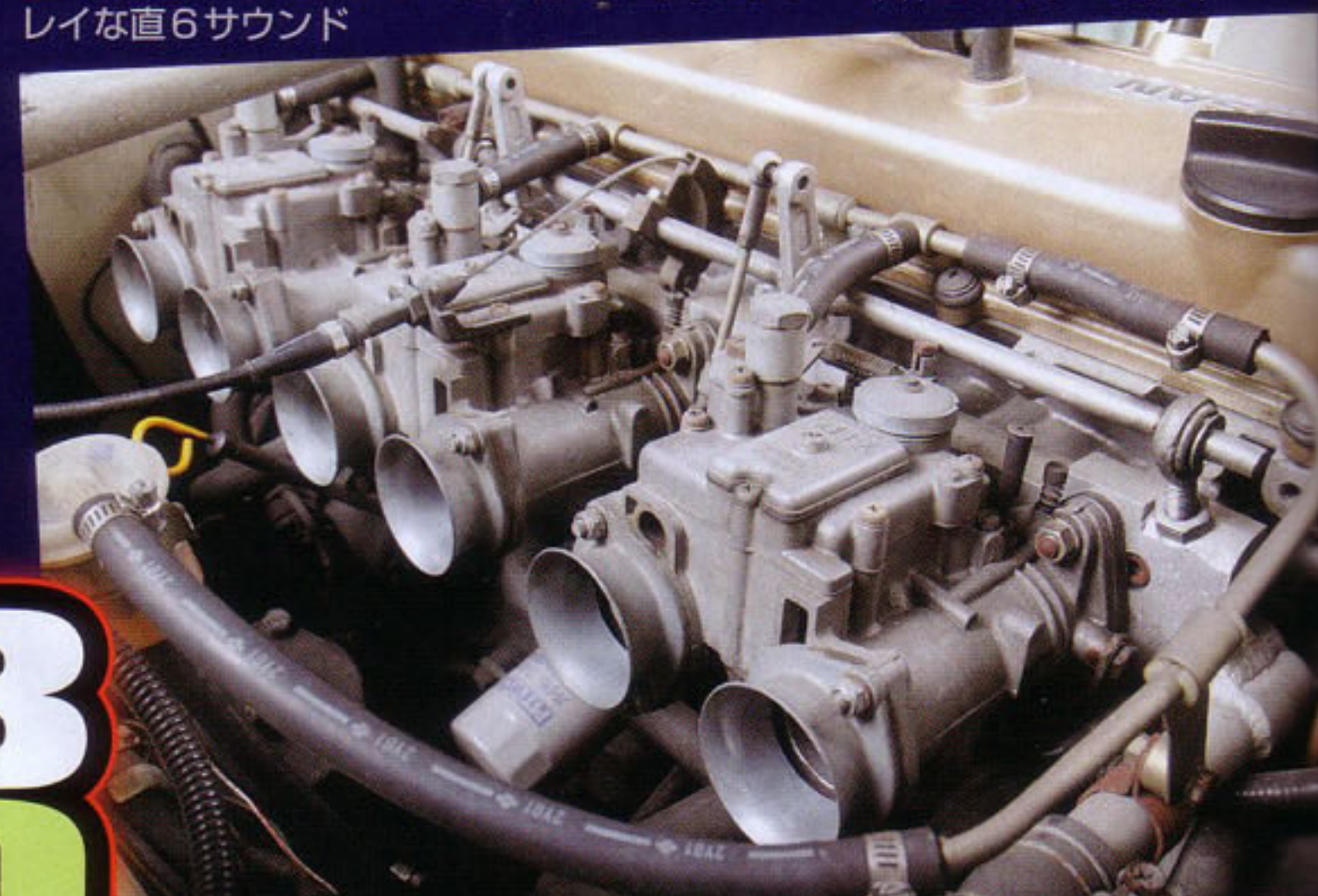


**RB20・25・26**  
日産・直列6気筒の楽しみ方

**RBエンジンの魅力とは?**  
日産がL型に代わるエンジンとしてRBが生まれたわけだけど、悲しいことに日産ではもう後世に続く直列6気筒は作っていない。性能や製造コストでは語り尽くせない魅力が直6にはあり、その魅力はエンジンを掛けた瞬間から感じるのだと思う。そんな魅力の直6。RB最小排気量が20。このエンジンの魅力はやはり軽さで、吹け上がりL20のDNAを引き継いでいる



キャブ車なので燃料ポンプはニスモを装着。このあたりの見せ方も。



ラジエター前にはコンデンサーが取り付けられる。エアコンが付いている証拠

**RB20**

**RB20in GC10**



RockyAuto・GC10

室内はオリジナルの雰囲気そのまま残し、ステアリングのみモモに交換している



センターコンソールも何の違和感もなく仕上げている。助手席横にはRB20を制御するC/P。ノーマルだがコレで現在の電子制御が使えるようになる



もちろん、エアコンもRBとそのまま移植しているが、エアコンスイッチ等はハコスカオプションのそのままを使う。とってつけた感が無く、それでいて快適というおまけ付き

ベースは47年式のGC10。初期型のワンテールとは微妙に違うが、このリア回りはやはり魅力的だ



テンションロッド等も交換済み。足回りは基本的にハコスカで、程よく車高も下げられている



リアフェンダーはRカットされている。美しく仕上げられたボディとワタナベホイールのデザインがマッチ

# RB20 という選択。

RB20・25・26  
日産・直列6気筒の楽しみ方

RB20in  
GC110



RockyAuto・GC110



シートは破れ一つ無く、座るのがもったいないほど。この雰囲気は今のクルマにはない魅力的な室内だ



桜井真一郎のネームプレートが目立つインテリアは、やはりオリジナルの雰囲気を残す。ステアリング・タコメーターを交換した以外は手を掛けていないが、室内の程度は極上



メーターパネルは木目。ケンメリの魅力でもあり、ハコスカから引き継いだ部分でもある。このパネルを目前にして走ることを考えただけでもワクワクしない？

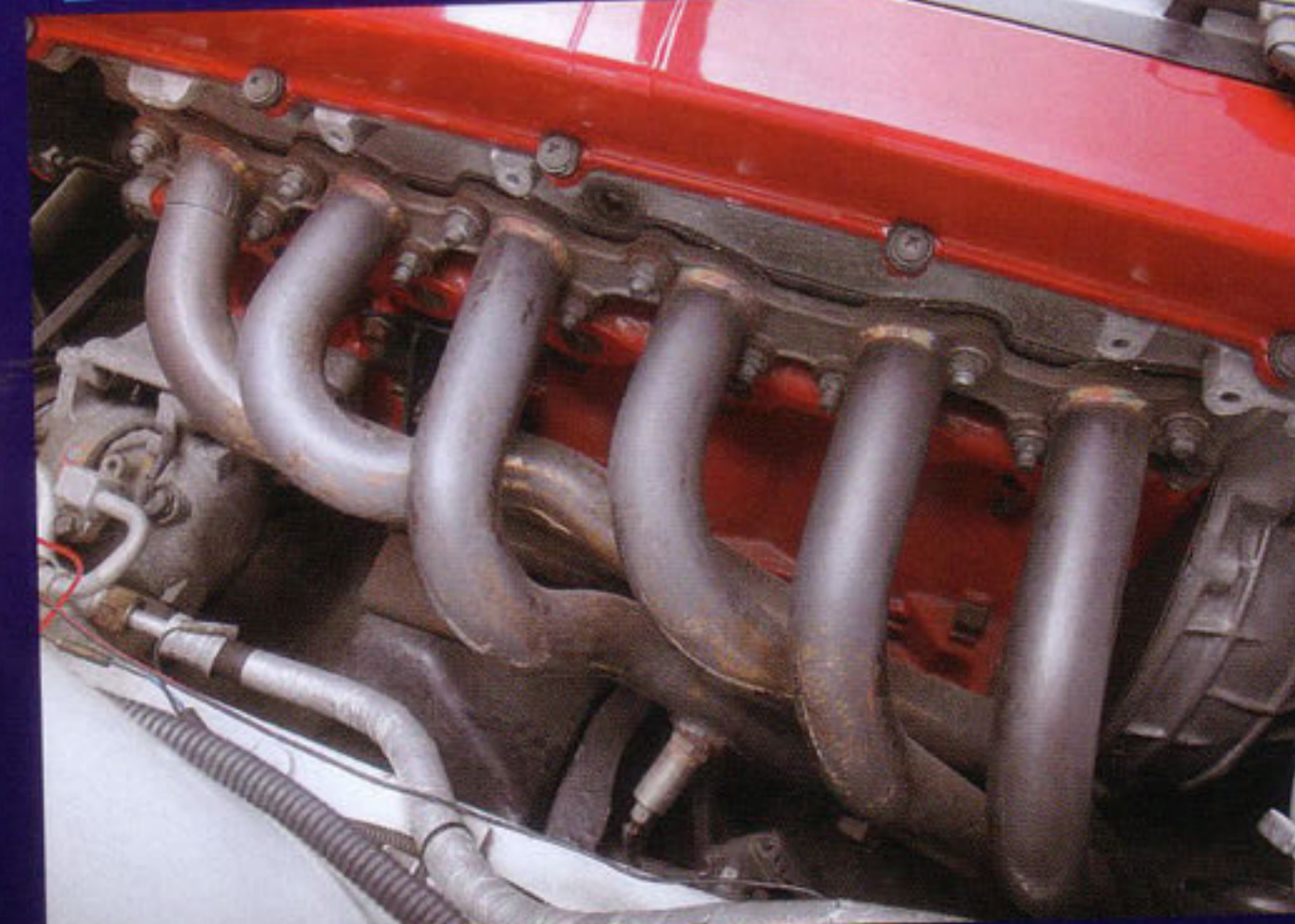
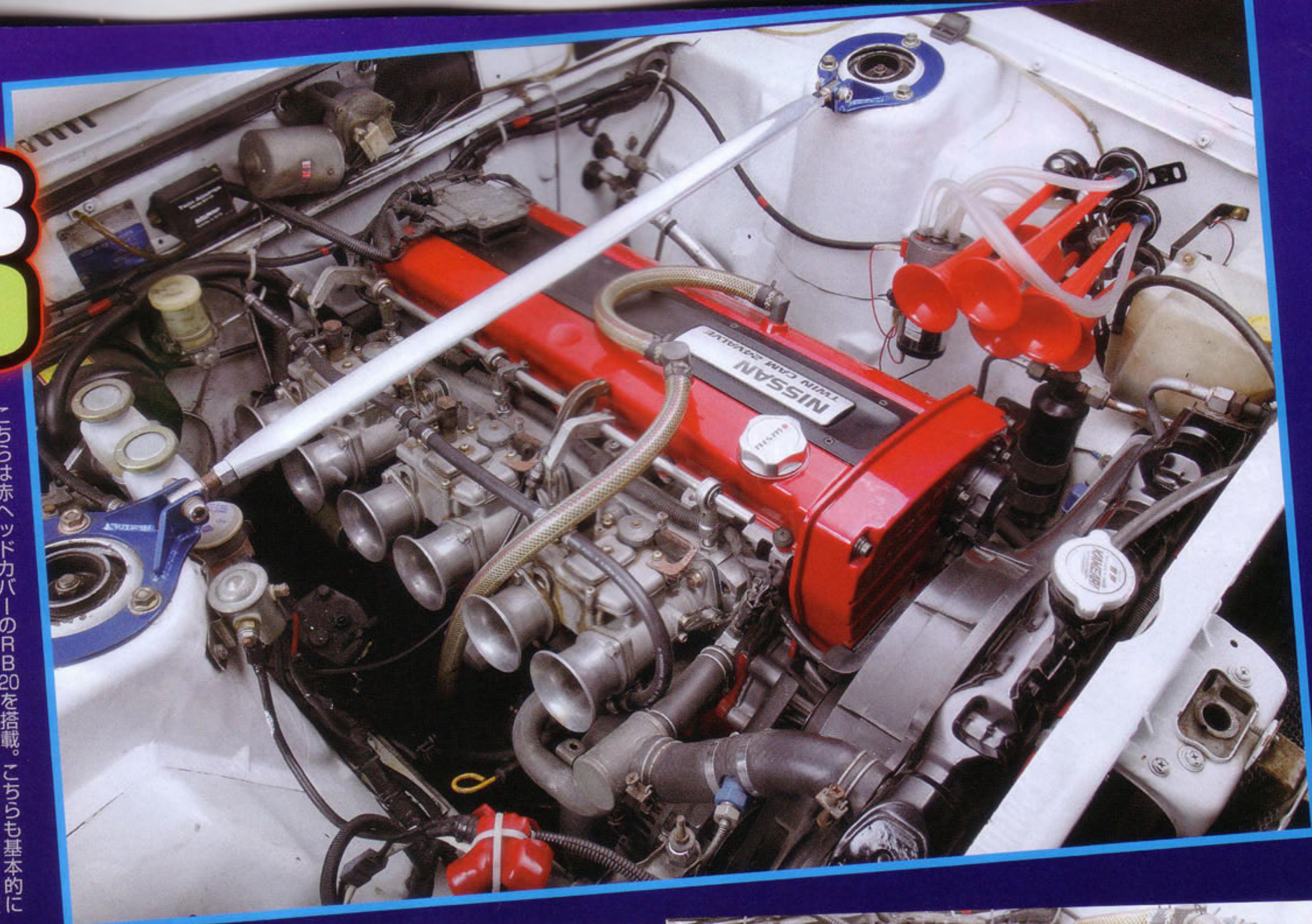
グローブボックス下にはフロアユニット、そのグローブボックスを開けると、RBの制御C/Pが入っている



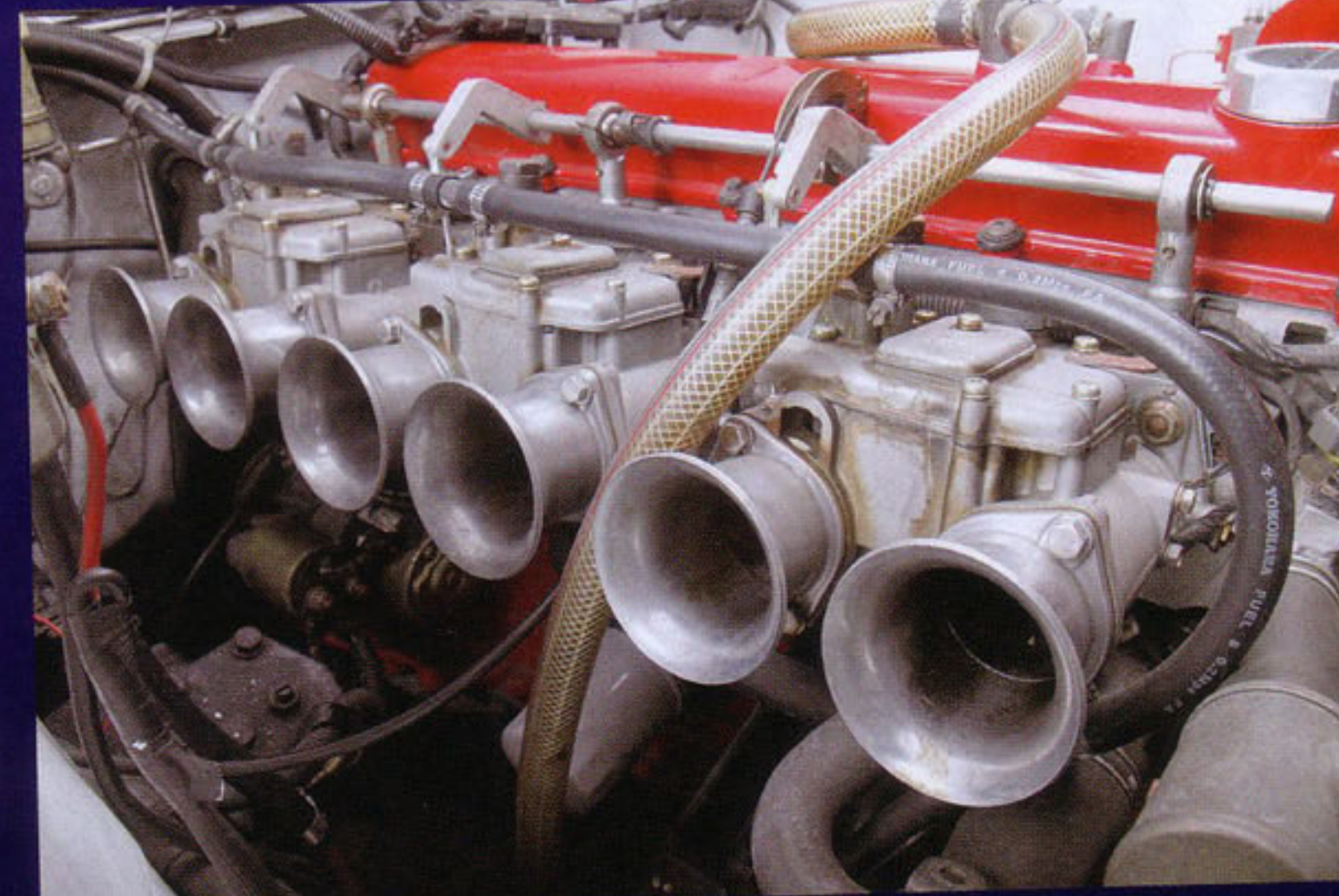
シヨンでもスマートに乗れるが、雰囲気はきちんと旧車。このクルマたちは日産伝統の直列6気筒である、RB20に換装しているのもポイントだが、そのままのインジェクションではなく、NAでソレックスキャブというのモミノ。キャブなのでインジェクションよりも気を遣う部分はやりがあるが、その独特な「味」には換えられないほどの魅力。ソレックスなどのキャブ車に乗りたくて旧車に乗りたいたいという人が大勢いるほど、その吸気音と加速感は何物にも代え難い魅力。そんな新しいところ取り、しかも本来の魅力を残して作られたこのハコスカとケンメリ。さあ、キミならどちらを選ぶ？

# RB 20

こちらは赤ヘッドカバーのRB20を搭載。こちらも基本的にはノーマルでソレックスキャブとタコ足を装着。キャブを取り付けるマニホールドはオリジナルだ。キャブ車なのでレキユレーター、ポンプなどはキャブ用だ



搭載車との兼ね合いもあり、タコ足交換はしておいた方がいいし、性能的・ビジュアル的にもやっておきたいところだ



ケンメリにキャブはそれほど珍しくはないがエンジンがRB20となると話は別。キャブの音はやっぱりいいね

やっぱりケンメリはデュアル出しが似合う。エンジンはRBだから1本出しもありだけど、ここは敢えてデュアルに拘る

## 欲しい人の気持ちをも 真剣に受け止める

このスタイルに惚れ込み、何のストレスもなく旧車に乗りたいたい人にとって、最新型に近いエンジンに載せ替えた旧車という選択肢も大いにアリだ。そんなガンガン、アクセルを踏みたい人にとって今回紹介するロッキータートが製作したハコスカとケンメリはとても魅力的だろう。どんなシチュエー

車高を下げ、ハネを取り付けるだけでケンメリらしいスタイルに。フロントフエンターに取り付けられるローレルウィンカーもお決まりのアクセント

